

ガウディア新聞

2024 SUMMER

この夏、計画を立てよう

こんにちは。ガウディア本部ママ社員のさかぐちです。まもなくやってくる夏休み。学校の宿題や毎日の生活において、ゆっくりマイペースな娘といつも衝突します。口癖のように「早くやりなさい」「いつになったら始めるの!？」を繰り返し、夏の終わりに「だから早くやるように言ったのに…」となります。そこで今回は子どもの計画性について調べたのでご紹介します。毎日少しずつ成長している子どもたちにとって夏休みは何かを身につける絶好のチャンスです。ぜひお読みください。

ライター
ガウディア本部ママ社員
さかぐち

計画性って?



参考にさせていただいたのは、交通図書協会さんのブログ「子どもが計画性を身に付けて得られるものとその方法」
<https://tosyokukai.official.ec/blog/2024/02/13/165230>

計画性とは物事を計画的に行おうとすること。何かをしようとする際に、自分が使える時間や、自分が進められるスピードなどを考慮して、何をどの順番でやるかを考え、実際にその順番で進めていく能力のことです。子どもはまだ経験が少ないため時間の見通しができず、自分が何をどれだけ進められるのか把握できていないことも多いと思います。夏休みの宿題などを計画的に進めることは、大人になって働く際に必要となる、段取りや時間の管理ができるという強みを得ることにもつながるでしょう。

計画性を持つことのメリットとは?

01 時間に余裕を持って行動できる

計画性があれば、時間に余裕を持って行動ができます。到着時間から逆算し、予定時間に間に合う準備や行動をとることができます。

02 物事の段取りが良くなる

事前に何をするかを決め、上手に計画を立てられるようになれば、やるべきことが明確になります。実際に取り組む時間になったときに段取り良く進めることができます。

03

成績が良くなり学習意欲が向上する

成績が良い子どもは「計画を立ててそれを振り返る」ことができます。(ベネッセ教育総合研究所が行った調査より) 計画性が成績向上につながるのには、目標を明確にして効率的に学習を進める、テスト結果などを見直して復習し次の学習計画に生かす、といったプラスの循環があるからです。計画性が高まると学習量の増加や学習意欲の向上にもつながります。

子どもの計画性を伸ばすには?

親も子どもと一緒に計画を立てる



親と一緒に取り組むことによって、自分だけがやっていると子どもに思わせずに取り組んでもらうことができます。まだ計画性が育っていない子どもに計画の立て方を教えるとき、親が実際に見せてあげた方が子どもも覚えやすいでしょう。

短時間の計画を立ててみる



まずは平日の朝や夜の家での過ごし方の計画を立ててみましょう。例えば「朝起きてから学校に行くまで」などの短い時間の計画を前日の夕方に決めてみましょう。

大人になって社会に出てからも計画を立てて行動することはとても大切なこと。せっかくの夏休み!料理をしてもらったり、旅行の計画を立ててもらったり、普段なかなか時間が取れないことも子どもにお任せしてみようと思います。つい口出しをしてしまいそうですが、計画を立てて実行することを楽しみながらやるのがポイントな気がします。失敗しても親はぐっとこらえて、本人が自分で改善してまた挑戦できる環境づくりをしてあげようと思います。みなさんもぜひこの夏、お子さまと一緒に計画を立ててみましょう。(文さかぐち)